

事例に学ぶ講座 実施要項

1 目的

鳥取県の行政事例で「注目すべき事例」を基に、組織の動き、各職員の姿勢、取り組んだ手法などの具体例を学ぶとともに、その行動特性をつかみ取り、今後の業務に活用していく。

2 対象者

県職員、市町村等職員（30名程度）

3 日時

平成18年7月11日（火） 9:45～17:15

4 場所 鳥取県自治研修所（鳥取市玄好町209）

5 科目及び講師

科 目	時 間	講 師
事例1 ～失われた住民との信頼関係の回復～ ・「智頭町市ノ瀬地区採石場跡地崩落事故への対応」 意見交換1	1.5 0.5	県土整備部 次長 谷口真澄
事例2 ～住民との信頼～ ・「BSEへの対応」 ・「西部地震における住宅復興への対応」 意見交換2	0.75 0.75 0.5	県環境立県推進課 課長 池田正仁 県中部総合事務所 生活環境局 建築住宅課 主幹 湊口民弥
事例3 ～失敗から学び、改善～ 「失敗事例の紹介」 意見交換3	1.5 0.5	県行政監察室 主任監察員 福田成生
計	6.0	

6 日程

日 時	9:45	10:00	12:00	13:00	15:00	17:00	17:15
7月11日 （火）	開講	事例1、 意見交換	昼食	事例2、 意見交換	事例3、 意見交換	アンケート記載	

※ 成功した事例、失敗した事例などを知ることにより、その時の組織の動き、各職員の姿勢、取り組んだ手法などの具体例を学んでいただきます。今年度の新規講座です。
当日は、意見交換時に鳥取県総務部長がコメンテーター役として出席します。

受講者の声 ～アンケートから～

- ・行政判断基準は県民、住民に置き、情報公開をして透明性を高めることがポイントだと実感した。
- ・失敗事例では、組織が機能していない感があり、組織が個人をバックアップする体制が重要であると感じた。
- ・様々な職場での業務内容を知ることができ、色々な知識を身につけることができた。
- ・失敗、成功の経験を共有できたのは良かった。
- ・基本的な姿勢などを再確認することができた。今後の業務の糧になると思う。
- ・平時、非常時にどういった姿勢で問題に対処すべきか、自分の考えを組み立てていく良いきっかけになった。
- ・他人事のように見えていた事例について、その背景について深く高い次元の分析を踏まえて学ぶことができた。